

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	第 1 回 松阪市社会教育委員会議
2. 開 催 日 時	令和 8 年 8 月 5 日（水）午後 2 時 0 0 分～午後 3 時 4 0 分
3. 開 催 場 所	橋西公民館 1 階 大会議室
4. 出 席 者 氏 名	（委 員） ◎平岡令孝、床呂さや子、岡田辰也、垣本長生、古戸陽子、阪井正弘、鈴木寛子、大田哲、山本嘉、久世季美、森本小百合、渡邊幸香 《◎委員長》 （事務局） 若山局長、熊野局次長、西浦教育総務担当参事兼教育総務課長事務取扱、長谷川教育総務課教育政策担当監兼課長補佐事務取扱、山中生涯学習課長、赤塚生涯学習課松阪公民館担当監、協葉学校支援担当参事兼学校支援課長事務取扱、宇田学校支援課教育課程係長、中西子ども支援研究センター所長、丸山学校教育課長、瀬古給食管理担当参事兼給食管理課長事務取扱兼学校給食センターベルランチ所長事務取扱、吉田スポーツ課長、山下スポーツ課スポーツ担当監、鈴木スポーツ課中部台管理事務所長、湯川北部教育事務所長兼北部学校給食センター所長事務取扱、高橋西部教育事務所長兼飯南飯高コミュニティ・スクール担当監兼飯南学校給食センター所長事務取扱兼飯高 B & G 海洋センター所長事務取扱、生涯学習係
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	1 人
7. 担 当	松阪市教育委員会事務局 生涯学習課 TEL 0598-53-4396 FAX 0598-26-8816 e-mail ikig.div@city.matsusaka.mie.jp

○協議事項・議事録
別紙参照

令和８年度 第１回松阪市社会教育委員会 会議録（要旨）

○日時：令和８年８月５日（水） １４時００分 ～ １５時４０分

○開催場所：橋西地区コミュニティセンター １階 大会議室

○議題

１. あいさつ
２. 自己紹介
３. 委員長、副委員長選任
４. 役員等の選出
５. 報告事項
 - （１）令和８年度一般会計予算「教育費」について
 - （２）中学校における部活動指導について（学校教育課）
 - （３）コミュニティ・スクールについて（学校支援課）
 - （４）スポーツのチカラプロジェクト推進事業について（スポーツ課）
 - （５）学校給食費負担軽減事業について（給食管理課）
 - （６）社会教育委員会答申を踏まえた検討状況について（生涯学習課）
６. 協議事項
 - （１）社会教育委員会議の進め方について
 - （２）社会教育委員としての取り組みについて
７. その他
 - 第５７回東海北陸社会教育研究大会三重大会について

○出席者：平岡委員長、床呂副委員長、岡田委員、垣本委員、古戸委員、阪井委員、鈴木委員、大田委員、久世委員、森本委員、渡邊委員、山本委員

○欠席者：太田委員、山下委員、本田委員

◆ 議事

- (1) 令和 8 年度一般会計予算「教育費」について
- (2) 中学校における部活動指導について（学校教育課）
- (3) コミュニティ・スクールについて（学校支援課）
- (4) スポーツのチカラプロジェクト推進事業 について（スポーツ課）
- (5) 学校給食費負担軽減事業について（給食管理課）
- (6) 社会教育委員会答申を踏まえた検討状況について（生涯学習課）

【5. 報告事項（1）～（6）を一括で事務局より説明】

委員：

2 点伺います。1 点は、資料 2 の③のスポーツのチカラプロジェクトのところで、2 の概要で（1）のところの、5 行目のところに、EXPG と記載があるかと思います。これはどういった意味なのか、教えてもらってもよろしいですか。

事務局：

EXPG というのは、LDH の管理する、ダンススクールの学校がありまして、名古屋や大阪や東京にあります。去年、名古屋からインストラクターを 2 名ずつ全学校に派遣させていただきました。子どもたち大変喜んでおりましたので、今年も引き続きお越しいただく予定です。この EXPG というのは学校名という形で使われています。

委員：

もう一点、資料 2 の②のコミュニティ・スクールについて教えてください。3. 期待する効果等、のところで青少年育成会と記載があるかと思います。現在、コミュニティ・スクールが導入され始めたことで、青少年育成会の活動が縮小されたり、地域によっては廃止されたりするケースもあるのではないかと聞きました。そのあたりの現状をお聞かせください。

事務局：

現在、青少年育成会については地域ごとに活動の強弱が見られるものの、全ての育成会組織が存続していると認識しています。ただし、青少年育成協議会の運営形態は本庁管内、三雲、嬉野、飯南、飯高の各地域で異なっており、それぞれの地域性に応じた課題が存在しています。今後はコミュニティ・スクールがその役割を担うなど青少年活動の改革が必要になると考えていますが、現時点で全く育成会が存在しなくなった地域はないとの認識です。

先進事例として、鎌田はコミュニティ・スクールの中に青少年育成の部門を統合しており、鎌田以外はそれぞれで活動いただいております。

委員：

まず、資料2の①、「中学校における部活動指導」についてということで、今社会ですごく課題になっている部活動の地域展開について、コミュニティ・スクール制度を活用した部活動はあまり見られないなと感じております。松阪市としての特色であるという部分を、せっかくですので教えていただけないでしょうか。

2つ目が、②の「コミュニティ・スクール」についてということで、質問というかお願い的な部分にもなります。午前中にコミュニティ・スクール関係者向けの研修会がありました。CSコーディネーターは地域学校協働活動を推進する立場の人であり、私自身もその役割に携わっています。以前、コーディネーターの活動が社会教育と関わっていることを知り、その視点で自分たちがどのように関わるべきかを考えるきっかけとなりました。こうした研修会は学校支援課が主催していますが、社会教育に携わる生涯学習課とも連携しながら、今後さらに広がっていくことを期待しています。

また、期待する効果等のところの(3)のところ、「コミュニティ・スクールの活動や保育園・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校間の連携が、円滑に推進されます」と記載があり、これは間違いないと思います。いざ学校運営協議会制度の中でかかわれる立場という視点でとらえたときに、保育園や認定こども園というのは、委員としては入るのはちょっとということを聞いたことがあったなという記憶があります。運営協議会の中に入らなくても、地域の園と共同して、子どもたちのかけ橋のプログラムにしても、保育園とかけ橋を組んで小学校が取り組まれているということなので、実際に制度上の問題で関われないままなのか、今後そういうことが可能なのかを教えてください。

事務局：

中学校の部活動は本市に限らず、全国的に生徒数の減少等に伴い、従来通りの運営というのが困難になってきています。単独校でチームが編成できないとか、部員数の減少によって部活動が廃止されるとか、そういった状況があります。生徒の選択肢の減少が現在課題となってきました。こうした状況の中で、文科省は部活動の地域展開を推進しています。これは従来教員が担ってきた部活動を、地域の活動としてとらえ直して、学校を含めた地域全体で支えることで子どもたちの多様で豊かな活動の機会を保障しようとするものです。松阪市におきましては、これまでも、子どもたちの機会保障を重視し、地域の指導者を学校部活動に活用することで活動の充実を図ってきました。令和8年度、今年度につきましては、これまでの取り組みをさらに発展させて、子どもたちにとって、持続可能なスポーツ文化芸術活動の機会を保障することを進めていきたいと考えております。そのために、学校運営協議会、コミュニティ・スクールが持つ、地域と学校をつなぐ力、この力を基盤とした松阪市らしい、新たな部活動のあり方を推進していきたいと考えております。以上です。

事務局：

先ほど、コミュニティ・スクールのことと地域学校協働活動のことについてお話いただきました。実際、学校運営協議会のことに関しましては地教行法に書かれています。また地域の協働活動に関しましては、社会教育法に明示されているということで、その点しっかりとわかるような形で、研修会の方、詰めさせていただいて、自治会の周知の方も図っていきたいなと思います。その中で、学校運営協議会と地域学校協働活動が一体的な取り組みで進められるようにやって参りたいと考えておりますのでお願いいたします。

2点目につきましては、(3)のコミュニティ・スクールの活動や、保育園・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校の連携という部分でなかなか関わりがというところでお話いただいたかと思います。現在、第四小学校の方では、鎌田幼稚園の方も一緒に学校運営協議会の委員として入っていただきながら、進めていただいています。そういった事例もございますので、今後、就学前施設の幼稚園や保育園等もなんらかの形で入っていただけるように、市としても進めて参りたいなと考えておりますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

委員：

⑤の「社会教育委員会答申を踏まえた検討状況」についてということで、状況を先程説明していただきましたが、もう少し詳しく教えていただきたいなと思います。先ほど若山局長の方でもコミュニティセンター化に伴い、顔の見える関係づくりということで生涯学習推進連絡会議が発足したというような話があったと思います。生涯学習の火を消さないということで、この会議を発足していただきましたが、この会議に参加される方への体制づくりは整っているのでしょうか。今までの公民館からコミセンに変わった中でおそらく仕事の内容も変わる部分があるかと思います。その中で社会教育に関わることについて、研修会や会議に参加できるような体制が整っているのかということを確認させてください。

あと、「講座等の受講者に対する費用負担」について、質問させてください。社会教育を実施していく中で、コミセンになったときに、この予算は人件費、ここの予算は生涯学習に関わる費用でという形で、補助金がおりにいるのでしょうか。社会教育の火を消さないというのを掲げている中で、生涯学習に関わる補助金ということで、そのお金を大切に扱って取り組んでもらえたらという願いです。

もう1点質問させてください。これは疑問だったのですが、講座の受講者の方で参加費が無料ということで申込をして実際全員が参加されるものなののでしょうか。お金もかからないからとりあえず申込をして、やっぱりやめておこうという人も少なからずいるのかなと思いました。

事務局：

まず1点目、各コミセンが会議に参加しやすい体制が整っているかという点について、それぞれのコミセンの住民自治協議会で生涯学習担当というような位置付けの方が、いらっしゃるかと思います。その方々にご参加いただいて、社会教育の火を消さない取組みの一つとして会議にご出席いただいております。ただこの会議自体は強制的に参加してくださいというようなものではなく、今まで通り顔の見える関係を繋いでいくというところで、是非ともご参加いただきたいというような話の中で、先月第1回目が行われました。その会議の中で少しの時間ですがグループワークのような皆さんの話し合いの時間をとらせてもらいました。そこでコミセンになっての思いなどもお聞きすることができ、非常に有意義な会だったと思いますので、引き続き行っていきたいと思っております。

2点目の費用負担に関することですが、住民自治協議会への交付金という形で、生涯学習振興費という枠組みで支出されております。その中で、講座消耗品や講師謝礼金など生涯学習の振興に必要なお金をしっかり確保した上で、それぞれの地域で使っていただいていると理解しております。

事務局：

講座の受講について具体的に言いますと、料理教室とかであったり、何らかのものづくりであったりする場合の材料費というものは徴収しております。ただ、講師謝礼金に当たる部分は、今のところ何もいただいてない状態で行っています。部屋の広さの関係もありますので、一応定員を決めて、募集させていただきます。

募集させていただいて、無料だからたくさんの申込があるというわけではなく、やはり興味のあるなしがあるので、定員を超えるものもありますし、定員に満たないものもあります。応募多数の場合は抽選を行わせていただいて、受講していただく格好です。

自主的に講座に応募されますので、「無料やで行かんでいいわ」というような考え方で、申し込まれる人は少ないはずです。結果、欠席される場合もありますが、それはなんらかの事情があったとこちらは認識しております。

委員：

現在スポーツの指導者の発掘や育成の状況ってどうなのでしょう。松阪市がスポーツ・クラブ活動も含めて、指導者が足りないとか、育成についてこんなことで困っているとかというのは、ないのでしょうか。特に女性の指導者が少ないと思います。あらゆるスポーツの競技団体含めて、指導者は確保してもらっているのか。または、指導者の育成は最中なのかということも状況も教えていただきたいと思います。

事務局：

部活動よりの回答になりますが、部活動に関しましては、学校単位で指導者をお願いしているというような段階であります。それに伴い、メリットやデメリットはいくつかあると思

います。デメリットは、なかなか指導者が見つかりにくいということです。メリットはやはり校長先生がそれぞれ指導者に対して面接をするので、しっかりとした信頼関係が築けた上で指導者を確保できるというところがあります。ただ先ほどデメリットのところでもなかなか指導者を確保しにくいという点もありますので、現行はまだですが、将来的にはスポーツ協会の方と連携して、より多くの指導者を部活動に携わっていただける可能性があるのかも含めて検討していく必要があると思います。例えば津市ではスポーツ協会から人材バンク的なものもしている実績もありますので、その部分も踏まえながらも少し踏み込んだ議論を今後していく必要があると考えております。

【6. 協議事項（1）～（2）について事務局説明】

委員：

是非とも徳和に来ていただいて、先ほどご質問もありましたけども、公民館がコミュニティセンターに変わって、どう職員が動いているかなど、実際見てもらってそこでまたご質問いただけると答えることができると思います。

あと今ヨリドコロという言葉が出ましたが、これは地域の助産師さんから声が上がりまして、今助産師さんと保育士さんと保健師さんが入っていただいています。大体10組から15組の2歳ぐらいまでのお子さんとお母さんが来ていただいて、大体1時間半から2時間ぐらい温かいご飯を食べながら交流をされています。地域の皆さんが野菜を持ってきてくれて地域のお米をいただいて、毎回メニューを考えて、出させていただいている事業です。

是非とも皆さんに見ていただいて、なかなかコミュニティセンターとかに来てもらえない年代の方が来ていただいているので、お話も聞いていただいて、あとは私どもの職員の姿も見えていただきながら、またいろいろ私たちも教えていただけるとありがたいかなと思います。今回ヨリドコロさんの方も、ぜひ来てくださって先生も言っていただきましたので、こういうふうな公民館がコミュニティセンターに変わり、たくさんの方がご利用いただいていることも見ていただけたらと思います。

お時間があれば食事と一緒に食べていただきたいなあということで、皆さん一生懸命、これがいいかな？あれがいいかな？これ喜んでくれるかなあって考えていただいています。是非ともお食事と一緒に取っていただいて、またそこでお話もできるかなと思いますので、ご参加いただければと思います是非とも来ていただきたいと思います。職員一同待っておりますので、ご都合を合わせていただきまして、ご参加いただければと思います。

以上でございます。

事務局：

ありがとうございます。

そういったことで、フィールドワークっていうところも含めまして、今後は年2回の社会教育委員会会議を提案させていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局からの説明は以上です。

委員長：

はい。ありがとうございます。

それでは、(2)の社会教育委員としての取り組みについて、事務局のほう、よろしくお願いいたします。

事務局：

こちらにつきましては、委員の皆様が日頃、社会教育委員として、普段から取り組まれていること、あるいは社会教育委員としてではないかもしれませんが、社会教育に因んだ活動に取り組んでいただいているかと思います。

せっかくの機会ですので、そういった活動をお聞かせいただけたらありがたいな思っております。

今後の、先ほどフィールドワークって話もあったのですが、今後の活動の参考としていきたいなとは思っております。いかがでしょうか。

委員長：

どうぞ皆さん遠慮なくおっしゃってください。

飯高の方で何か活動、ご報告等ありましたらおっしゃってください。

委員：

失礼します。

飯高管内の社会教育活動って言われますと、これと言っても思いつかないのですが、私、飯高清流太鼓をやっているんですね。学校授業の中でさせていただいたんですけど、なかなかちょっと今、時間的なこととかいうのがあって、できていませんが、楽曲だけは提供させてもらっております。

以前は自分の子どもたちが学校に通っておりましたので、その時は、こういうふうな組織がいろいろなかったこともあって、PTAとして、学校とのおつき合いの中で、私は水泳のインストラクターをしていましたので、体育の授業に入っていました。また、キャンプを通じて、いろんな体験を子どもたちにしてもらってきました。

ただ、コミュニティ・スクールができてからは、やっぱり学校と関わりが、全くそういうお声がかからなくなって子どもたちがいなくなったこともあって、なかなかそういう場に恵まれなくなりました。

言っていただければお手伝いはできますし、私ができないところは、他の方で補っていただくということもできると思いますので、そういう活動はさせていただきたいなと思っております。

委員長：

ありがとうございます。それでは飯南はどうですか。

飯南：

すいません。自己紹介でも言いましたけど、最近は全く活動しておりません。

委員長：

今度、東海北陸の大会が三重県でございます。

その中で、てんてんを取り上げていただいているんですけども、私、恥ずかしながらてんてんを詳しく知らないんですけども、もしご存じなら。

委員：

一回見たことあるだけなんでそういうところには参加してないんで、分からないですね。申し訳ないです。

委員長：

はい。ありがとうございます。それでは嬉野と三雲の委員がお休みですので、本庁管内の方から、どうでしょうか。

委員：

先ほど「てんてん」のお話がありましたが、神話を紐解きながら日本という国を見ると、秩序ある行動ができる国民性が感じられる、という点に繋げていきたいと思います。例えば、私が松尾住民自治協議会で活動している中でのエピソードですが、毎年「みえ松阪マラソン」の際にはサイコロステーキを提供させていただいております。焼き上げて出すと、千人ほどのランナーが集まってくるんです。普通なら混乱が起きてもおかしくない状況ですが、日本人はきちんと順番を待つんですよね。100メートル、200メートルにわたって列ができて、みんな礼儀正しく並ぶ。こうした秩序ある行動は、文化の積み重ねや祖父母・親世代からの影響によるものだと思っています。このような姿勢を子どもたちにも伝えていくというのも、子どもたちにとっての生涯学習のひとつになるのではないかと考えております。

ただ、気になる点として、「社会教育」という言葉が引っかかるんです。教育というと、私たちが何かを「教える」立場になる印象を受けますが、そうではないと思います。生涯学

習というのは、自分自身で学んでいくものだという考えを大切にしております、住民自治協議会として行事を開催する際も、そんな思いを伝えるように心がけています。

また、もう一つの役割として、地域をより良くしたい、という思いで活動しています。例えば、松阪警察署と連携し、特殊詐欺に関する啓発活動を行っていますが、このような活動も、生涯学習や地域の安全向上につながるのではないかと思いますしながら実践しています。このように、住民が自ら学び、地域をより良くしていく活動の一端を担わせていただきたいと思います。以上です。

委員長：

ありがとうございます。ちょうど歴史の話も出たところで、歴史民俗関係で何かあったらこういうふうなことも、皆さん勉強しましょうという、ヒントをいただけたらありがたいんですけども、いかがでしょうか。

委員：

自己紹介のときにも言わせていただいたんですが、この4月から、歴史民俗資料館に館長として入ったんですが、それまではずっと教員をしております、学校教育にどっぷり浸かっておりました。

今度9月には、企画展で、大河内城と蒲生氏郷っていうテーマでやるんですけど、全然今まで、自分も大河内城のことがわからなくて、今、勉強しながら、それで企画展になるかなと思うんですけども、大河内地区コミュニティセンターにも通って、地域の人も話しながら、やっているんです。

そうやってしていくと、社会教育というよりは生涯学習、先ほど言われたけども、そういうのを歴史民俗資料館で館長させていただくにあって、他の人にも伝えられたらいいかなっていう気持ちで今やっています。

それからもう一つ、社会教育委員をさせていただいて、先ほど報告事項のところも聞いていましたけど、例えば、部活動のあり方っていうのを学校教育課が担当しているということになりますけど、それは、学校の中で、部活動の占める割合がすごく大きくて、部活動がもう学校の中心になっていったというところがあって、それを国としても、転換しようっていうことで、それが、学校教育マターになっていて。でも、それはかなり、厳しいというか、やっぱり部活動の観点から考えてしまうところがあると思うんです。

そういうのを、社会教育委員になったので、社会教育とか、社会全体の中から、それをどうしたらいいかっていうことを話していかなければならないということを思いながら聞いていました。だから幾らでも、松阪市の中のそういう生涯学習に関わることをよくしていくために掘り下げるところはたくさんあると思うんで、私も歴史民俗資料館の館長として、そういう役割を担っていきたいなというふうに思います。答えにならないと思いますが。

委員長：

ありがとうございます。これからもどっぷり浸かってください。はい。というところで、皆さん方から貴重なご意見をいただきました。本来ならば、皆さん方一人ひとりに貴重なお話をさせていただきたいんですけども、時間も来ましたところでですね、ちょうどこれで、協議事項が終了しました。

事務局：

ありがとうございました。本日いただいたご意見等も踏まえ、今後の会議のあり方であったり、こういったところに視察に行くとか、またその辺りもご相談させていただけたらと思いますので、またよろしくお願いいたします。

それでは、事項 7、その他でございます。

第 57 回東海北陸社会教育研究大会三重大会につきまして、先日事務局の方から皆様にご案内をさせていただきました。

資料 4 に開催要項がございます。令和 8 年 10 月 8 日から 9 日にかけて、8 日が全体会、9 日が分科会という形になっております。1 人 3000 円ということですが、これは資料代として事務局の方で負担することを考えております。

裏面に、大会の日程書いてございますので、お申し込みがまだの委員の方におかれましては、ご回答いただけたらと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

この件について、委員の皆様より、何かございませんでしょうか。

それではこれですべての事項が終了いたしました。

本日の事項につきまして、委員お一人おひとりのご協力により円滑に進行いただくことができました。

先ほどもご案内申しましたが、次回、第 2 回の社会教育委員会会議は、12 月 9 日水曜日、午前 10 時より、徳和地区コミュニティセンターにおいて開催予定でございます。詳細につきましてはまた改めてご案内をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それではこれをもちまして、社会教育委員会会議を終了させていただきます。どうぞお気をつけてお帰りください。本日はありがとうございました。